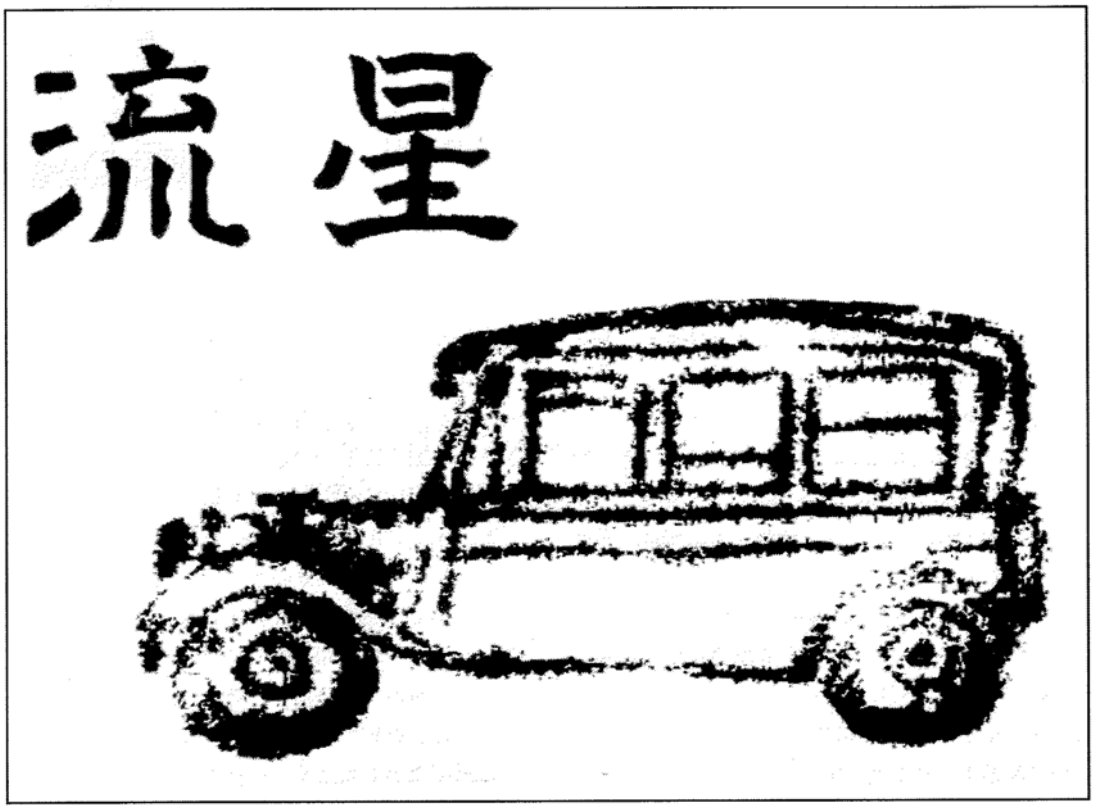



流星　第 21 号（ＯＢ会誌 8 号）

目次

題字　河村先生（元部長）
イラスト　伊東（子 44）


| | | | |
|---|---|---|---|
| 巻頭言 | | 部顧問　平木　准教授 | 2 |
| 所感１ | ＯＢ会会長を終えて | 前会長　松尾 | 3 |
| 所感２ | ＯＢ会会長就任に当たって | 新会長　木村 | 4 |
| 現役あいさつ | | | |
| 新主将挨拶 | | 新主将　岩田　（２回生） | 5 |
| 新ＯＢ担当挨拶 | | 新ＯＢ担当　飯田 | 5 |
| 新入部員の決意・抱負 | | | 5 |
| 自動車部 20 年活動・会計報告 | | 現役担当 | 6 |
| ＯＢ会 09 年度活動・会計報告、10 年度活動計画 | | 嘉村 | 7 |
| 総会特集 | | | |
| 平成 21 年度総会を終えて | | 関西地区幹事　木庭 | 9 |
| ＯＢ会役員会、総会議事録 | | 関西地区担当　中西 | 11 |
| 平成 21 年度総会を終えて | | 関西地区副幹事　古川 | 15 |
| | | 同　事務局長　山崎 | 16 |
| | | 中西 | 18 |
| 特別寄稿　部誌「流星」20 号を迎えるに当たり-２ | | ＯＢ会事務局　嘉村 | 19 |
| ＯＢ会名簿 | | | 21 |
| 編集後記 | | | 23 |

－　巻頭言　－

# 「ある日スペインにて」

部顧問　平木　　准教授

欧州滞在中の忘れられない経験がある．名都バルセロナを訪れたのち，そこから東へ海沿いに車を走らせていると，カート場が目に入った．その日は移動だけで時間に余裕があったこともあり，物は試しとばかり立ち寄ることにした．英語が通じるか不安であったが，受付では２種類あるメニューのうち好みの方を選んでお金を払うだけであった．日本ならお決まりの免責事項に関する承諾書への署名や免許証の提示などは一切なかった．ラテンの国ではやっぱりおおらかなんだ，と一人で納得しながら，準備場でヘルメットと耐火ベストを手にとるとどれもデカイ．ベストのバックルをはめて締めてもゆるゆるで，しかたなくバックルの帯どうしを縛ってやっとのことで体に合わせた．一息ついていると，ほどなく前のセッションが終わり，自分達の出番となった．１０台くらいで制限時間５分の間コースを回るだけである．１周目はならしで走り，２周目からは全開で走るが，なかなか前との差は縮まらない．そのうち，コーナーを回ったところでいきなり車がクルリと回り始めた．自分ではスピンにつながる操作はしていないつもりだったので，「なんでだ？」と不思議に感じていたが，車が後を向いたときようやく状況を察した．後から当てられたのである．「やっぱりヨーロッパのドライバーはザツい！こんな奴らと競い合える佐藤琢磨（当時はそうだった）はスゴイ！」とやっぱり勝手に納得する．５分間はあっという間だから，もうこれで終わりだろうとチェッカーフラッグを確認するが，まだ出ない．何周まわってもやっぱり出る気配がない．おかしいと思っているうちに，だんだん体が疲れてきた．ペースが鈍り，抜かれていく．いい加減終りにしてくれと願っていたら，ようやくフラッグが振られた．ふらふらしながら車から降りて準備場に目をやると，次の番を待つ人たちでひしめきあっていた．ヘルメットを脱ぐなり，四方八方から手が伸びてきてあっという間になくなった．ベストも脱ごうとするが，きつく縛ってあるので，なかなか結び目をとくことができない．あせているうちに，手の数はどんどん増えてくる．何とか脱ぎ終わってまわりを見ると，なんと女性もいっぱいいるではないか．しばらく気を落ち着けてから，カートに興じている人たちを観察すると，年齢層は少年から初老の人と幅広く，また女性も相当数含まれている．モータースポーツの盛んな国では，それを支える国民性が存在するのだと強く実感した貴重な経験であった．

このような国民性を考えると，自動車メーカーが欧州のモータースポーツに参戦する戦略は，私たち日本人が思う以上に宣伝効果抜群なのだと納得させられる．実際，スバルやトヨタはコアなファンを獲得しているようにみえる．そのモータスポーツ界に目を移すと，ＷＲＣでは名門スバルの活躍が見られなくなり，Ｆ１ではホンダに引き続き，ブリジストン・トヨタの相次ぐ撤退表明と，国際的な大舞台から大手自動車関連メーカーの名が消えることとなった．背景の一つには，厳格化された環境基準への対応にメーカーとして全力を注ぐべきとの判断があるのであろう．これまでディーゼルエンジンで環境への対応を推し進めてき

た欧州メーカー勢も，ここへ来て電気・ハイブリッド車へと方向を転換しつつあることを考えれば，当然の帰結だろう．その日本の環境対応技術は，きっと世界一にちがいない，と私は信じている．一度も手で触れることなく，自動で蓋を空け，流してくれるようなトイレという発想に至り，実際にそこまで作り込んでしまうのは，もともと触れる必要のない和式の習慣を持っていた日本人だからこそであろう．そういう凝り性な日本人の国民性が環境問題という世界の危機を救う原動力になる，と秘かに思っている．そういっておきながら，次に車を買う時はフォルクスワーゲンにしようと心に決めている．ヨーロッパでは一番魅力的に私の目に映ったからだが・・・．

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

－所　感１―

## OB 会会長を終えて

自動車部 OB 会前会長　　　松尾　（機 25）

私の会長就任は全く突然のお話でした。その時のいつわらざる心境は、流星１６号に詳しくのせています。『とにかく、この「OB 会会長を誠心誠意２期４年間務めたいと覚悟しております。副会長の廣田さん、尾辻さんほか役員の皆さん、自動車部 OB 会をより発展させせることにご協力下さい。』このように始めてからはや６年たちました。

OB 会総会を軸に、この間の経過を辿ってみましょう。先ず、平成１６年１１月２３日、北九州市小倉ステーションホテルで、現役を含め３８名が参加し、近年にない大盛会となったようです。実は、私は日本技術士会九州支部の事務局長もしていましたので、組織人員約千名の舵とりで参加できませんでした。

次は、平成１７年９月３日、中京地区のお世話で、愛知県猿投温泉での総会でした。参加人員は３１名で、自然豊かな雰囲気の中、大いに盛り上がった総会・懇親会でした。丁度この年は、名古屋で万博が開催されており、翌日のコース案内までして頂きました。

この総会頃から地区の準備会が何回も持たれ、実行委員会の皆さんに大変な重荷になったように感じます。

次は、平成１９年１０月２０日、関東地区のお世話で、熱海温泉ニューフジヤホテルでの総会。参加者は３８名で、OB 会メンバーの相互理解のため、スライドや写真展示を中心とした内容の濃いイベントとなりました。翌日は観光組とゴルフ組にわかれて楽しい一日を過しました。

次は、平成２１年１０月１７日、関西地区のお世話により、滋賀県大津市の KKR ホテルびわこでの総会でした。参加人員はなんと５１名に達し、参加人員の記録をつくりました。

永年自動車部顧問としてご指導賜った原田先生が退官され、新たに平木先生が顧問に就任されたお披露目の総会になりました。そして、私もこの総会で会長を退任することができました。また、これだけの多数の参加者のお世話をするのは大変なご苦労があったであろうと推察しました。

翌日は比叡山の観光や明智光秀の墓参をし、往時を偲びました。長いみちのりを歩くことができて、健康に自信が持てました。

これまで、中京地区、関東地区、関西地区と、総会を通じて多くの地区役員の方々とお会いすることができましたが、皆さんのエネルギーを沢山頂きました。

私の年齢は、あと３ヶ月で８０歳になります。ここまで体調をくずさずに、よく長持ちしたものだと我な

がら感心します。この辺が潮時です。

若い有能な方々が多数おられます。特にこの OB 会の育ての親ともいわれる嘉村 剛事務局長には大変お世話になりました。１年でも早く次の交代者を見つけて勇退して下さい。

廣田副会長、原田先生、平木先生をはじめ OB 会の本部役員、地区役員の方々にも大変なご協力を頂き感謝にたえません。

これから、木村会長のリードのもと、自動車部 OB 会がますます発展されますよう祈ります。

皆さんありがとうございました。

了　<トップへ戻る>

==========

—所　感 2—

## 自動車部 OB 会会長就任に当たって

自動車部 OB 会会長　木村　（機 36）

平成 21 年 OB 会総会で、松尾前会長の後任として、不肖私が会長に指名され就任いたしました。嘉村事務局長から事前に打診がありましたが、これまで OB 会のためにあまりお役に立っていなかった私がと言う思いと、その償いとして、これからお役に立ちたいという思いのせめぎあいの中で、引き受けることを決断した次第です。

私は昭和 32 年に機械工学科に入学し、迷うことなく自動車部に入部しました。この年の 5 学科の新入生は 164 人だったと記憶しています。1 週間の講義を受けて試験に合格し、40 人位が入部出来るほどの狭き門でした。当時は嘉村さんが 4 年生、富田さんが主将で、その日車庫で整備をした後、流星号で一人 5 分程運転を習いました。クラッチ操作を誤るとたちまちエンストし、そのたび手回しのクランクで起動したものです。2 年生になり 10 名ほどが免許試験の受験を許可され、幸運にも合格しました。1 回目の合格は立派だと評価され、忘身寮の自動車部室に入室を許されました。34 年に主将を務め、35 年は門司氏、36 年は野口氏、37 年は宮崎氏と、錚々たるメンバーに引き継ぐことが出来ました。

部の活動は、部員の運転や整備等の教育訓練、４トントラック彗星号の 6 ケ月毎の車検整備、九州 1 周遠征、引越しや石炭運搬のアルバイト等多忙を極め、教室に行くより車庫にいるほうが多く、よく卒業できたものだと思います。この点では多くの OB 会員と同様に、胸を張って自動車部卒業と自負しています。特筆すべきは、34 年から西日本学生自動車連盟が結成され、九州 1 周ラリーが始まり参加したことです。その後連盟は日本学生自動車連盟に編入され、日本 1 周ラリーの参加へと発展してゆきました。

私は 36 年に無事卒業し、自動車とは全く関係のない小野田セメントに入社しましたが、その仕事の大半はプラントエンジニアリングで、国内外のプロジェクト業務に携わってきました。或る時は、アラブの国々での過酷な条件の中で、問題解決に昼夜を分かたぬ激務を強いられた事もありましたが、自動車部の車庫で鍛えられた技術と根性で、乗り越えてこられたのだと確信しています。

平成 17 年 6 月に、44 年に及ぶ会社生活に終止符を打ち、9 月に中京地区で開かれた総会に初めて出席しました。更に平成 18 年、門司氏の後を受けて関東地区幹事に就任、今日に至った次第です。OB 会の運営については初心者の私ですが、松尾前会長、嘉村事務局長はじめ諸先輩のご指導と野口、木庭副会長はじめ多くの役員、会員の皆様の協力を得ながら、会則に則り、会員相互の扶助、親睦と現役自動車部の発展に寄与してゆきたいと考えています。

昨今の自動車産業を取り巻く事業環境は、激変の

時代に突入しています。経営の悪化から、大手自動車企業のF-1やラリー等のモータースポーツからの撤退が相次ぎ、一方、環境面資源面からも、エネルギーの石油から電気への転換が急速に進展しつつあります。このような逆行の時代にあっても、「ステーツ・オブ・アーツ」の状態まで進化し、心地よい音と振動とパワーで運転者に訴えかける自動車への、熱い情熱を守り続けてゆきたいと願っています。
ご協力の程よろしくお願いします。

了<トップへ戻る>

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

## － 新主将挨拶 －

責善会自動車部主将　岩田　（電気２回生）

先輩の皆様にはご清勝のこととお慶び申し上げます。
私は今年度、九州工業大学自動車部第６９代主将を務めさせて頂く岩田剛と申します。
今回、このような大役を務めさせて頂き誠に光栄に思っています。
まだまだ半人前でありますが先輩方のご協力と今年入った新入生の力を借りながら主将としての責務を果たしていけるよう精一杯頑張っていきます。
最後になりますが皆様のますますのご発展をお祈りしつつ挨拶とさせて頂きます。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

## － 新 OB 担当 －

飯田　（機械）

このたび、新しい OB 連絡員になりました飯田慶です。今後は「流星」や OB 会に関する自動車部の窓口は私が担当することになりましたのでよろしくお願いします。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

## － 一年生抱負 －

中村　（機械）

　私が自動車部に入部した理由は、将来自動車エンジニアになりたいという夢があること、自動車がとても好きであること、そして自動車部の雰囲気がとてもアットホームで、先輩方が温かいからです。幼い頃から自動車に興味を持ち、中学高校の時はモータースポーツ、特に自動車技術の最高峰といわれている F1 のすごさに、あまり専門知識がないにも関わらず衝撃を受けました。

　今後は、自動車部の一員として、多くの先輩方の努力の結晶ともいえるすばらしい設備、環境を有意義に利用し、先輩方から多くの自動車の知識を吸収していき、夢を実現できるように努力したいと思っています。そして、在学中に自分の車を所有し、自動車にじかに触れ、モータースポーツにも積極的に参加し、九州工業大学自動車部でしか出来ないことを経験していきたいと思っています。

飯田　（機械）

　私が自動車部に入部した理由は、小さい頃からずっと車に興味があったからです。小学生の頃にジムカーナやラリーを見て、隣に乗せてもらう機会があったため乗せてもらった所、それまでに経験したことのない興奮を味わって、自分も運転免許をとって、競技に出たいと思いました。中学や高校では車について会話できる人がいなかったけれど、大学に入学して、自動車部があり、とても楽しそうだから、入部しました。これからは車の構造を深く理解して、自分でメンテナンスが出来るように努力していきたいと思っています。

渡辺　（機械）

自分が自動車部に入部した理由は、自分で自分の車のメンテナンスを出来るようになりたかったからです。昔から車には興味があり、車の漫画や雑誌等は読んでいました。

これからやってみたいことは、まずバイトをしてお金をためて、車を買って、先輩にいろいろなアドバイスを聞いて車のチューニングをしてみたいです。特に面白そうだと思うのは足回りで、ショック、サスペンション、トーの角度等、大まかにしか分からないことが多いです。しかし、足回りというのは車の挙動に大きく影響を与えるため、自分は自動車部で車に触れて学びたいと思っています。

高橋（機械）

自分が自動車部に入部したのは、小さい頃から自動車が好きであったからであり、免許を取れる年齢に達した今、自分の車を持ってそれを自分で整備したり、自分の好みに調整をして町乗りを楽しみたいと思ったからです。

しかし、オフィシャルとしてジムカーナやラリーに参加するにつれて町乗りだけではなく、自分で調整した車で、競技にも出たいという意欲も湧いてきました。ジムカーナのデモ走行で、助手席に乗せてもらえる機会があり、社会人の方が運転している姿を見て、自動車競技は本当にスポーツであるということを実感し、こんなにも大きな機械を自由に操っていることに驚きました。

私はまだ免許を持っていないので、出来るだけ早く免許を取り、自分の車を持って走ることの楽しみを味わってみたいと思っています。また、車のことについてもいろいろと勉強して知識を深めようと思っています。

八尋　（機械）

僕が自動車部に入ったきっかけは､高校の時から F1 を見ていてドライバーの運転やピットスタッフの作業がかっこよくて僕もあのように車に関わることをやってみたくて自動車部に入りました。

自動車部に入ってやりたいことは、整備以上に、車の運転に興味があるので、競技にでて、ジムカーナ等で最速を目指したいと思っています。九工大自動車部にはすばらしい OB の方々や先輩方が数多くいらっしゃるので、いろいろと教えていただき勉強していきたいと思っています。

＜トップへ戻る＞

―活動報告・決算報告―

# ２０、２１年度活動報告、決算報告

OB 会事務局（会計）　嘉村　剛（化 33）

【２０年度：19/10 から 20/9 までの活算報告】

19 年

１０月～１１月　流星１９号編集作業

１２月　１９号発行・発送

20 年

３月　現役援助費送金

６月　現役と打ち合わせ・OB 会ロッカーの確認流星発送の手順・年末の現役、ＯＢとの懇談会の手順

７月　座談会案内状発送

９月　関西 OB 会（神戸市・参加１０名）関西地区 OB 会総会の準備、メール役員会

【２０年度決算報告】

20 年度 OB 会本会計決算報告書　　20.9.30

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 前期繰越 | | 会誌 | |
| 18～21 会費 | | 現役援助会計へ | |
| 部活援助費 | | 援助費本会計分 | |
| OB 会カンパ | | 座談会通信費 | |
| 関東総会余剰金 | | 事務費 | |
| | | 通信費 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 次期繰越 | |
| 合計 | | | |

現役援助費会計決算報告書　　20.9.30

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 本会計より | | 20年度援助費 | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | | 合計 | |

（平成 20 年 9 月 30 日現在）

【２１年度：20/10 から 21/９活動報告】

20 年

１０月　座談会「彗星号を語る」小倉リーセントホテル

１１月　第一回実行委員会・メンバー決定

１０月～１１月　流星２０号編集作業

１２月　流星２０号発行・発送

〃　現役・ＯＢ懇談会援助費送金

〃　懇談会の担当者から参加者が少ないので中止したいと申し入れがあり中止

21 年

１月～１０月　総会実行委員会開催(数次)案内状発送など

２月　総会実行委員会へ総会費送金

〃　自動車部現役へ部活援助費など送金

３月　新役員の打診開始

４月　野口法康氏より副会長就任の快諾

６月　中京地区新役員人事決定（中京地区明専会）

９月　メール役員会(総会議案など)

9～10 月　総会パンフの打ち合わせ

【２１年度決算報告】

21 年度 OB 会本会計決算報告　　21.9.30

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 前期繰越 | | 会誌 | |
| 20･21 会費 | | 援助費本会計分 | |
| OB 会カンパ | | 総会費 | |
| | | 事務費 | |
| | | 通信費 | |
| | | 振替手数料 | |
| | | 次期繰越 | |
| 合計 | | 合計 | |

現役援助費会計決算報告　21.9.30

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 前期繰越 | | 21年度援助費 | |
| 部活援助費 | | 次期繰越 | |
| 合計 | | 合計 | |

―役員人事・活動計画・予算案―

# 役員人事・活動計画、予算案

OB 会事務局（会計）　嘉村　（化 33）

役員人事

**本部役員**

| | | |
|---|---|---|
| 会　長 | 木村 | （機 36）（新） |
| 副会長 | 野口 | （機 38）（新） |
| 〃 | 木庭 | （機 43）（新） |
| 会　計 | 嘉村 | （化 33）（留） |
| 会計監査 | 川越 | （化 47）（留） |
| 会誌担当 | 武地 | （機 2 51）（留） |
| 名簿担当 | 松元 | （機 55）（留） |

**地区役員**

| | | |
|---|---|---|
| 関西地区幹事 | 木庭 | （機 43）（留） |
| 〃　副幹事 | 古河 | （金 46）（留） |
| 九州地区幹事 | 伊東 | （子 44）（留） |
| 〃　副幹事 | 山本 | （制 46）（留） |
| 関東地区幹事 | 門司 | （金 37）（再） |
| 〃　副幹事 | 宮崎 | （機 39）（留） |
| 中京地区幹事 | 中野 | （キ 25）（留） |

〃 副幹事　　高橋 （電 38)（留）

〃 副幹事　　河野 （制 49)（新）

21 年

【22 年度活動計画】

１０月　総会パンフ作成

〃　　第五回自動車部 OB 会総会・滋賀県大津市ＫＫＲホテルびわこ

１０～１２月　　流星２１号編集

１２月　　流星２１号発行

22 年

３月　　現役部活動援助費送金

９～１０月　　九州地区ＯＢ懇談会（総会実行委員会設定）

22 年度 OB 会本会計予算案

| 収　入 | | 支　出 | |
|---|---|---|---|
| 繰越金 | | 会誌 21号 | |
| 会費 | | 援助費本会計分 | |
| カンパその他 | | 事務費 | |
| | | 通信費 | |
| | | 総会パンフ印刷 | |
| | | 次期繰越金 | |
| 合　計 | | 合　計 | |

22 年度 OB 会現役援助費会計予算案

| 収　入 | | 支　出 | |
|---|---|---|---|
| 繰越金 | | 部活動援助費 | |
| OBからのカンパ | | 繰越金 | |
| 合　計 | | 合　計 | |

## 【重要】　会計から振込口座変更のお知らせとお願い　嘉村　剛

総会前から会員の皆様にお願いしていましたが、会長、副会長が、リニューアルした中で会計・事務局のみがまだ残っています。早急に次世代にバトンタッチするためにも、振替口座を、嘉村個人名から法人・**明専九州工業大学自動車部OB会**として、届け直しをし、それに伴って、口座番号も変わりました。

今回同封しました「振替用紙」は、番号が変更されています。以前にお送りした用紙は破棄お願いします。以上

## 平成 21 年度第 5 回明専・九州工業大学自動車部ＯＢ会総会特集

# 平成２１年度総会を終えて

関西地区幹事　木庭　（機 43）

平成２１年度自動車部ＯＢ会総会を１０月１７日びわ湖畔のＫＫＲホテルにて開催し、無事に終えることが出来ました。今回は、来賓の平木顧問、香川主将、山端ラリー委員長、および松尾前会長、木村新会長を初めとするＯＢの皆様、総計５１名の方々が全国各地から参加して頂きました。皆様から寄せられた様々のご協力に対し、開催地区を代表して厚く御礼申し上げます。

また、ＯＢ会総会にて、松尾会長、中野副会長、廣田副会長が退任されましたが、永い間自動車部ＯＢ会の発展に貢献頂きまして、誠にありがとう御座いました。

今回は、直前に厚生省より新型インフルエンザの爆発的流行の可能性に関する懸念も発表され、大変心配しましたが、ＯＢ会総会は計画通り実行することが出来ました。しかしながら、1名のＯＢの方が、ご家族に新型インフルエンザの患者が出たため、参加者に迷惑を掛ける可能性を心配されて、開催日前日に参加を取り消されると言う事態が発生しました。この方はＯＢ会総会参加を大変楽しみにされていましたが、適切なご判断をして頂き感謝致します。

さて、この度のＯＢ会総会に向けて、2008 年 9 月 20 日の地区ＯＢ会にて開催準備のキックオフをしましたものの、その体制は心もとないものでした。ところが、実行委員会を重ねる度に、メンバーも充実し、非常に力強い準備活動に変わっていきました。実行委員メンバーは、持病を抱えていたり、仕事が多忙であったりと種々問題を抱えながらも、関西地区開催のＯＢ会総会を是非とも成功させようとの情熱が、準備活動を大変積極的なものにしてくれました。ＯＢ会総会開催準備は、当日の午前 2 時頃までメールが飛び交うほど熱のこもったでしたが、実行委員がそれぞれ役割を分担し、誰か 1 名欠けても、こうはうまく行かなかったであろうと思うくらいでありました。献身的に活躍して下さった実行委員の皆様には、心より感謝申し上げます。

私は、海外駐在が 14 年間の長きに渡ったため、前回の平成 19 年度総会が初めてのＯＢ会参加でありましたが、昭和 41 年から 45 年の卒業年次では、参加者が私だけであり少々を寂しい思いをすると同時に、参加者の継続的参加意欲低減の懸念を抱きました。そこで、ＯＢ会への継続的な参加者を増やすには、各卒業年次から満遍なく参加して頂くことが必須と考え、10 名の実行委員全員が、卒業年次別に分担して、電話、メール、手紙などでＯＢ会参加呼びかけを行いました。地の利に加え、これらの努力により、参加者は 51 名となり、次回以降も更に増加していくことを願っております。

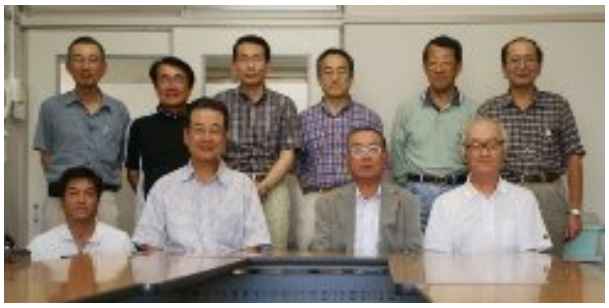
自動車部ＯＢ会のように、会社の仕事や人間関係から離れたネットワークを持つことは、大げさに言えば、人生を豊かに出来ると考えております。このようなネットワークを通じて、新しい情報を得たり、

ストレス解消の場になったり、あるいはリタイヤメント後の楽しみの一つになったりするわけであります。一つの事例のご紹介ですが、関西地区では２年前の地区ＯＢ会でハイキングの話題が出たことがきっかけとなり、中原さん（機 39)、橘さん（電 40)、田中さん（化 45)、古河さん（金 46）と木庭の５名で、定期的に京都や六甲山などへのハイキングに行き、歴史や四季折々の季節を楽しんでおります。このような観点より、ＯＢ会への参加者が増加して、ネットワーク機能が更に充実していくことを期待する次第です。

この度のＯＢ会総会では、九州工業大学、および自動車部の現状を認識することをテーマに掲げ、平木顧問と香川主将にそれぞれご説明賜りました。本当に久し振りに、大学の実状や自動車部の活動状況を、大変興味深く聞くことが出来ました。平木顧問と香川主将にはいろいろと事前の準備をやって頂き、改めて深謝致します。

現在の自動車部では、近年の若い人たちの車離れの影響もあり、部員数の減少が大きな問題となっております。昭和３５年頃は、入部試験で部員を選択できたと言うお話を伺い、昭和４０年代前半には常時４０～50 名の部員を抱えていたことを考えると今昔の感を持ちます。わが自動車部がこれからも健全に継続していくように、その一助として、現役とＯＢの交流頻度を上げて、ニーズとシーズの掘り起こしを始めることが出来ればと思います。そして、いろいろとお世話になった自動車部に、物心両面の支援をもう少し大きくしたいと思う次第です。

実行委員メンバーによる、今回ＯＢ会総会の反省会は年が明けてからになりますが、次回のＯＢ会総会の成功に少しでも寄与出来るように、改善すべき問題点を明確にして、各種データと共に九州地区に引き継ぎたいと考えています。２年後に皆様と再会することを楽しみにしております。



今回関西支部総会実行委員会の皆さん
前列左から石田、木庭、中原、橘、後列左から田中、西村、山崎、中西、小泉、古河（敬称略）

# 平成21年（第5回）明専・九州工業大学OB会総会議事録

関西地区OB会総会実行委員会:記録　中西（加50）

1. 日時・場所

平成21年（2009年）10月17日

18時00分～18時30分

滋賀県大津市・KKRホテルびわこ　比叡の間

２．総会開会のご挨拶：木庭総会実行委員長

ご来賓の平木先生には、今回月並みの来賓挨拶ではなく、母校や自動車部の現状を中心にお話し頂こうとお願いしております。今日から二日間、イベントが続きますが、どうか楽しく堪能して頂きたく、又、自動車部という絆で派生しました、このネットワークが益々、大きくなっていくことを願っていますとの主催者側としてのご挨拶があった。

３．総会ご挨拶：松尾会長

昭和20年代の卒業生としては、この場では私、一人になりました。

本日は、51名の方々が会されまして有難うございました。

本席には、前任の原田顧問から自動車部の顧問を引き継がれました平木准教授と現役の香川主将、山端ラリー委員長の3名の方が来られております。

又、いつも自動車部の事務局長を、長年、務めて頂いています嘉村様には、OB会の万般のお世話をして頂いてきましたが、この方無しでは、OB会は続いて来れなかったのではないかと思います。大変、感謝申し上げます。

又、今年度の総会の準備委員会として関西地区の木庭総会実行委員長をはじめ、協力頂きました関西地区の皆様には大変な努力が要ったのではないかと思います。心からお礼を申し上げます。

これから総会審議に入りますが、皆様方の自由、闊達なご意見、ご提言をお願い申し上げます。

４．議案

総会審議に入る前に総会司会の中西から定足数の報告があった。

総会出席者数が48名、委任状が93名、合計141名、通常会員が127名ですので、充分、総会成立要件は、満たしている。

議長を松尾OB会会長とし、議案の審議が総会パンフに沿って進行された。

（1）承認事項

1）20年度・21年度活動報告：嘉村事務局長

19年10月から20年9月までを20年度としている旨、年度の説明があった。

21年度も同様。

総会パンフの各活動項目に沿って説明があり、承認事項は全て承認された。

（補足特記内容）

①20年3月：現役援助費送金

前回総会（関東地区開催）で決った現役援助費の送金は、20,000円。

⇒総会パンフの21年3月は、間違いで20年3月に変更

②20年10月19：座談会「彗星号を語る」小倉北区リーセントホテル

出席者は、明専の卒業者で、座談会は、かなり古い話しであった。

彗星号の説明があった。

昭和20年に明専の学生のお父さんが、宮崎の方から軍用車を終戦と同時に持って帰られて、それが明専の自動車部に寄贈されて自動車部の部車という形で大活躍したが、35年頃に廃車になったと聞いているとのこと。

③20年12月18日：流星20号発行

この20号から武地さんに部誌の編集、発行をお願いしている。

2）20年度本会計・現役援助会計及び21年度本会計・現役援助会計決算報告：嘉村本部会計

総会パンフの決算報告書の各項目に沿って説明があり、各決算報告は全て承認された。

3）会計監査報告：川越会計監査

10月1日に会計報告があり、適正に会計処

理がされていることを確認した旨、報告があった。

**（２）審議事項**（本誌 P7，P8 参照）

１）役員人事案：嘉村事務局長

役員人事案は、拍手を持って承認された。

２）22 年度活動計画（案）：嘉村事務局長

総会パンフの各活動項目に沿って説明があり、拍手を持って承認された。

３）22 年度本会計・現役援助会計予算案

総会パンフの本会計・現役援助会計予算案の各項目に沿って説明があり、拍手を持って承認された。但し、一部金額修正を下記（補足特記内容）の通り行う。

（補足特記内容）

①予算金額に間違った記述があるため、下記の通り修正する。

**（３）退任役員ご挨拶：松尾会長**

総会パンフの最後に記載の明専 100 募金ご協力についてご説明があり、OB 諸氏のご協力に対してお礼のお言葉を頂戴した。この席を持ちまして退任させて頂くこととしたい。3 期 6 年間、身体が続くかどうか心配でしたが、何とか任期を全うすることが出来た。

現在、フルタイムでサラリーマンをしている。専門技術者として頑張られているとのことでした。

以上で総会は、終了した。

**（ご参考）**

【司会を総会司会の中西から懇親会司会の西村さん・山崎さんに交替】

**<懇親会の来賓ご挨拶の一部：平木講儒准教授（自動車部顧問）>**

昨年から自動車部の顧問をさせて頂いております。私が着任の折、前任の原田先生が、隣の部屋にいらっしゃいまして、原田先生は、電車で通勤、私は、車で通勤。住んでいる所が近かったので一緒に帰りましょうということで、その間、度々、車の話をする機会があり、自動車部の続きをおやりなさいということで、喜んでしますと返事した。それから顧問をさせて頂いております。

自動車部の歴史が 60 年もの歴史があるとは夢にも思わなかったのですが、今日、このような会合で OB 諸氏のお顔を拝見させて頂くと伝統の重みをつくづくと感じております。今回、このような場にお招き頂いたことをうれしく思っています。

今日は、木庭さんから大学の近況を説明しなさいとの命を受けましたので、写真等で説明しようかとも思ったのですが、皆さん、九工大のイメージがあろうかと思いますので今日、私が、お話しする言葉からイメージして頂いて、そのギャップを楽しんで頂くのも宜しいのかなということで話だけにさせて頂きます。

ほとんどの建物は、新しくなっております。これが、一番大きな違いです。

これは、100 周年に向けて改築になったのではありませんで、きっかけは、2005 年の玄界沖の地震でした。その時、大学には、損害は無かったのですが、耐震性を満たしていないところで学生さんをお預かりするのは、とんでも無いことだということで、文科省からお金が下りて次々と改修が進んでいったわけです。今では、全ての講義室が冷暖房完備となっています

**つづきがありますが、割愛。**

# 平成21年(第5回)明専・九州工業大学OB会　役員会 議事録

関西地区OB会総会実行委員会:記録　中西（加50）

1. 日時・場所

平成21年（2009年）10月17日

16時00分～17時00分

滋賀県大津市・KKRホテルびわこ　201号室

２．出席者

松尾会長、嘉村事務局・会計、川越会計監査、

武地会誌担当、

木庭関西地区幹事(新副会長候補･兼務地区幹事)、

古河関西地区副幹事

木村関東地区幹事(新会長候補）、

門司関東地区幹事

伊藤九州地区幹事、山本九州地区副幹事

河野中部地区副幹事

野口（新副会長候補）、

オブザーバー：関西地区OB会総会実行委員会

山崎事務局長・西村委員・中西

計15名

３．役員会開催のご挨拶：松尾会長

今回のOB会総会を開催して頂いた関西地区(木庭実行委員長、古河副実行委員長、山崎事務局長)へのお礼のお言葉を頂戴し、総会前の役員会ですが活発な発言をお願いしたいとのご挨拶があった。

４．議案

議案は、議長である松尾会長により審議進行された。嘉村事務局・会計からこの総会パンフが役員会の議案書を兼ねているとのコメントがあった。

（1）承認事項

1）20年度・21年度活動報告：嘉村事務局・会計

総会パンフの各活動項目に沿って説明があり、承認事項は全て承認された。

（補足特記内容）

①20年3月：　現役援助費送金

前回総会（関東地区開催）で決った現役援助費の送金

⇒総会パンフの21年3月は、間違いで20年3月に変更

②20年6月：OB会用ロッカー確認

OB会用ロッカーをガレージに設置しているが、そこに流星の創刊号から一切のOB会資料を置かせて頂いている。流星の創刊号から12号まで保管しているので、必要な方は、会誌担当の武地さんに申し入れて下さい。今後、スキャンしてPCにて配信出来るようにもしたい。

③20年12月18日：流星20号発行

この20号から会誌編集を武地さんにバトンタッチ

④20年12月23日：現役との懇談会中止決定

現役が中心となり、実施しようとしているが、中々、うまくいかない。

今後、軌道に乗せたい。

⇒現役との懇談会が中止となった理由として、年末の時期は、大変忙しいので集まりも少なくなるのではとの意見があったが、初回の開催時期が12月であり、12月31日に徳尾さんの所で、年末恒例の餅つきがあり、OB各位が、立ち寄ることから12月になった経緯がある。

時期は、このままでいくことにする。

⑤21年2月22日：現役に部活動援助費など送金

⑥年度の説明と明記

年度の説明があり、期間の記述をすることとした。

20 年度活動報告（19 年 10 月 1 日～20 年 9 月 30 日）

21 年度活動報告（20 年 10 月 1 日～21 年 9 月 30 日）　　それぞれ明記

2）20 年度本会計・現役援助会計及び 21 年度本会計・現役援助会計決算報告：嘉村事務局・会計

総会パンフの決算報告書の各項目に沿って説明があり、各決算報告は全て承認された。

（補足特記内容）

①20 年度本会計・現役援助会計は、部活動援助費を一旦、本会計に入れて本会計と現役援助会計の収支を合わせているが、21 年度本会計・現役援助会計は、本会計と現役援助会計は、区分けして別会計としている。

3）会計監査報告：川越会計監査

適正に会計処理がされていることを確認した旨、報告があった。

**（2）審議事項**

1）役員人事案：嘉村事務局・会計

役員人事案は、承認された。但し、中京地区の幹事・副幹事の人事は、取敢えずこのままとするが、再度、中野さん、高橋さんのご意向等河野さんに調整して頂くこととする。

2）22 年度活動計画（案）：嘉村事務局・会計

総会パンフの各活動項目に沿って説明があり、承認された。

3）22 年度本会計予算案

総会パンフの本会計予算案の各項目に沿って説明があり、承認された。但し、一部金額修正を下記（補足特記内容）の通り行う。

（補足特記内容）

①原稿データの取り間違いで予算金額に間違った記述があるため、下記の通り修正する。

4）22 年度現役援助会計予算案

総会パンフの現役援助会計予算案の各項目に沿って説明があり、承認された。但し、一部金額修正を下記（補足特記内容）の通り行う。

（補足特記内容）

①原稿データの取り間違いで予算金額に間違った記述となったため、下記の通り修正する。

**（3）その他:**

1）現役部員数の減少課題（今後の自動車部のあり方）：松尾会長

流星 20 号の巻頭言に平木先生も記載して下さっているように現役部員の人数が、減ってきており、一年生がゼロ、二年生が一名しかいない。このままでは、自動車部の長い歴史に幕を下ろすことにもなり兼ねない現況である。

平木先生が関係されている人力飛行機製作チームは、メンバーは 40 名を超えている。

何か、そういうような活動への方向性も含めて皆さんのご意見があればお願いしたい。このような問題があることを頭の隅にでも留めて置いて頂きたい。

エンジンを触ることはせず、ラリー等が中心になってきていることもひとつの問題なのかも知れない。

又、フォーミュラー大会への参加等も一考かも知れない。

2）本日の総会成立要件：中西

①本日出席者：48 名、委任状：93 名

合計 141 名

②通常会員：83 名（20 年度会費納入者）、44 名（21 年度会費納入者、但し 20 年度と重複者あり）　　合計 127 名

従って、127 名に対して 141 名で本日の総会は、充分成立要件を満たしている。

3）12 月号流星原稿のお願い（名簿の取扱いに関る掲載課題を含む）：武地会誌担当

当日配付の　「流星　第 21 号（OB 会誌 8 号）の内容（案）」に沿って原稿の依頼があった。

会誌への名簿掲載は、個人情報保護の問題があるので卒年、名前、住所を掲載し、住所は、●●市までとする。詳細な連絡先が必要な方

は、名簿担当まで使用目的を明確にして申し入れる旨のコメントを記載する。

==========

## 平成２１年 OB 会総会を終えて

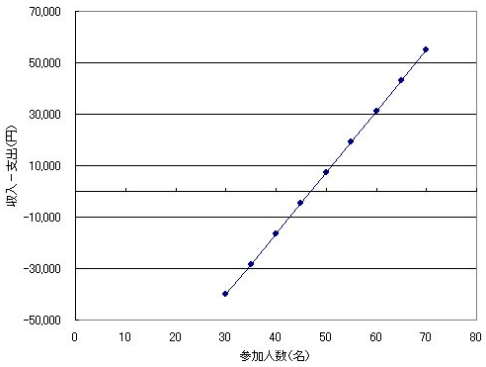
OB 会関西地区副幹事　　古河(金 46)

関西地区での総会実行委員会のキックオフは 2008 年 9 月 20 日でしたので、1 年 1 ヶ月間の活動になりました。私は関西地区の会計を担当していますので、総会の準備も主に会計と会議室の確保等の雑用を担当しました。

関西地区での総会開催に当たって最も注力した点は、なるべく多くの会員にご参加いただくことです。理由は以下の２点です。

(1) 赤字を出さない(採算分岐点以上の人数であること)

(2) 今回参加すれば、それがきっかけとなって次回以降も参加し易くなる(次回以降の参加者の増大)




まず採算分岐点の人数は、徴収する参加費と利用するホテルの料金で概略決まります。実行委員の皆さんの情報と行動力で、比較的低廉で琵琶湖湖畔の温泉という当初の要件を満たすホテルが決定し、招待する学生さん２名に旅費を全額補助する為には約 47 名の会員の参加が必要という計算になりました。後はこの 47 名をいかに達成するかのアイデアと行動だけでした。その手段は以下のようなものでした。

① **開催場所**(ホテルの条件)

② 案内状を１回送るだけでなく、複数回連絡して会員皆さんの脳裏にインプットする。

(ⅰ)事前案内：２月初旬、(ⅱ)正式案内：４月、(ⅲ)直前案内：１０月

③ E-Mail の活用と郵便葉書の併用

④ スケジュール調整の面から早期に連絡する(２月初旬の事前案内)。

⑤ 親しい友人に電話や E-Mail で出席を働きかける。

⑥ 関西の特徴を活かしたイベント企画(ゴルフ以外に古都京都、琵琶湖、比叡山観光)

①～⑥を実行するには努力もし、いずれも効果があったように思います。その結果急な事情で参加できなくなった方を含めると 53 名の会員の方々にご参加の同意を得ることができたことは嬉しい限りでした。

今回のお世話をした実行委員は延べ 12 名です。年齢は 44 歳から 68 歳で、現役で働いている方が 7 名、定年退職されている方が 5 名です。いずれも約 22 年～43 年間、企業で働いてきた方で、皆さんが異なった職種、職場でした。こういう方々と１年余りの間つき合うことができ、貴重な経験であったと思います。総会準備期間中の１年余りの間に実行委員同士で交わした E-Mail は、私の場合で受信が 680

通、発信が 440 通、合計 1100 通余りに達しました。これは単に事務的な連絡に留まらず、数十年前に同じ大学の同じサークルに席を置いた人間同士の精神的な繋がりを更に強くしたことになっただろうと思っています。

この１年余りの間には世界同時不況が深刻になり、新型インフルエンザ問題が発生し、与野党が変わるという歴史転換もありました。私も脳梗塞で１ヶ月半入院するという突発トラブルもありました。これらが渾然となって、変化の多い楽しい１年間であったと思います。実行委員の皆様と総会・懇親会にご参加していただいた皆様に感謝申し上げます。２年後に九州でお会い致しましょう。　以上

==========

## 第五回総会を終えて

関西地区総会事務局長　山崎　（電 49）

１．準備活動紹介

１）はじめに

今回は５１名という多くのかたに参加頂き本当にありがとうございました。

関西支部として、昨年の９月にキックオフを行い、その後、６回の会合を主に神戸を中心に実施し、ホテルや、二日目のイベントの下見等を手分けして準備をしてきました。

２）目標人数

幸い、関西には京都を始め多くの観光地があり、日本のほぼ中心で地の利が良いということもあり　又採算の面からも今回は目標を５０人としてスタートしました。

５０人の参加者という目標達成のために葉書きとメールの案内に加え、卒業年次毎に担当を決め、メールや電話による一本釣り作戦を実施しました。その過程で 30 年ぶり、40 年ぶりに声を聞き、懐かしがったり、「定年まで海外で頑張るから参加できない」という知らせを受けたり、多くの感動を体験できました。

３）体制

残念ながら関西は関東に比べ若手中間層が薄く実行委員の人集めは苦労致しました。

当初、期待していた最若手の人たちが早々に転勤して、最終的には顧問として中原さん（39 卒）、橘さん（40 卒）、実行委員として木庭さん（43 卒）、田中さん（45 卒）、古河さん（46 卒）、小泉さん（48 卒）、中西さん（50 卒）、西村さん（54 卒）、石田さん（55 卒）と私の１０名の体制で準備致しました。顧問というと少しは楽そうですが、人手不足のため一兵卒で頑張って頂きありがとうございました。

途中、病気にかかる人がおられたり、５月頃からの神戸発のインフルエンザの流行等もあり準備の会合開催すら危ぶまれることもありましたが、その度に少ない人数ながら結束してカバーし合い、木庭さんのリーダーシップと古河さんの緻密さでなんとか無事開催にこぎつけたことは大きな喜びです。

私を始め現役組は、仕事の合間をぬって時間をやりくりしながら、準備活動に参加しましたが、リタイヤ組の皆さんに打合せの後は毎回、神戸のおいしい所を案内して頂いたり、５回目の打合せは私の勤め先の保養所で明トラの感触を思い出すために一泊で実施し連帯感を深めることができました。　協力して、今回の一つのプロジェクトと言っては大げさですが今回の総会をなしとげた事は大変いい思い出となりました。

前回の関東の事務局長の中西さんからノウハウを聞

こうと電話した所、幸運にも、関東の単身赴任から戻って琵琶湖のそばに住んでおられ会場探し・下見等に大活躍頂きました。途中、再び　関東に戻られましたが引き続き実行委員をして頂き、大変助かりました。

２．総会・懇親会概況報告

１）総会

松尾会長による挨拶、木庭総会実行委員長による挨拶、その後嘉村さんによる議案報告が行われ、全ての議案が可決され無事終了しました。

２）懇親会

平木准教授の母校の興味深い現況紹介のお話後、総会により新しく選出された木村新会長による乾杯の音頭、その後食事懇談中に古河さん撮影の母校の最近の写真がスライドショウーで流され、平木顧問の話を実証するかのように新しい建物・女子学生の姿等が放映され、その絶妙のコンビネーションに一同感激した次第でした。

次に現役３年の香川主将による、最近の部活動のプレゼンがあり、３週間後に第４７回ＫＩＴナイトラリーを控えていること、部員不足ながら頑張っている状況を聞き、一同ますます支援活動の必要性を感じました。

その後、事務局による準備状況紹介、関東・九州・中京の各地区の代表による近況報告があり、初参加の若手の方を中心に自己紹介をして頂きました。時間の都合とはいえ、全ての方にお話しして頂けず、申し訳有りませんでした。

後半には次回 23 年度総会の抱負を伊東九州地区幹事より、最近のモータースポーツ事情をラリーは三菱ラリーアートの川越さん、レースは元ホンダＦ１チームの坂井さんに話してもらい、古手の初参加の古場さんよりお話を頂き、巻頭言・学歌斉唱を元寮生の坂井さんに仕切って貰い、会は最高に盛り上がりました。

最後に、新副会長の野口さんより万歳三唱、閉会の辞を古河実行副委員長にて無事懇談会は終了しました。

３．一日目夜

明トラ、カラオケ、懇談と各部屋にて夜遅くまで盛り上がりました。

４．二日目イベント

幸いにも絶好の天気に恵まれ、ゴルフ、比叡山、京都市内観光とそれぞれのコースとも盛況に終えることができました。

５．終わりに

直前でやむなく不参加となった坂田さん（54 卒）、津曲さん（58 卒）、三角さん（62 卒）、最後まで総会を気にかけてくれた三好さん（62 卒）、次回こそは会いましょう。

私は４年前の愛知、２年前の熱海と参加させてもらい、出席者の皆さんから多くの元気を貰ったことを覚えています。今回、特に初参加の皆様が「参加して良かった､次も又会おう」と言ってもらえたのが、私ども事務局一同にとって大変嬉しい言葉でした。

二年後をお願いします九州地区のかたも、あまり堅苦しく考えずに気楽にやって頂きたいと思います。準備活動時に大変役に立った前回・前々回のデータも今回も同様に引継ぎますのでご活用の程お願いします。又、できたら、今から若手の人材の募集を開始しておかれてはいかがでしょうか。以上

# 総会を終えて

総会実行委員　中西（加 50）

Act１．総会準備活動をさせて頂くことになった一本の電話

第一回実行委員会の開催前夜の２ 008 年 11 月 28 日週末、私は、仕事を終え、片道 20k のいつもの夜道を工場のある栗東から大津の自宅に向け、車を走らせていた。その時、携帯に電話がかかった。山崎さんからである。「明日、神戸で初めての準備会合があるけど、関東でのノウハウを聞かせてほしい」とのこと。私が関西に戻っていることをご存知の上で電話を頂いたのかなと思ったが、関東にいるものと思われての問い合わせであった。直ちに、関西に帰ったことを告げると「明日の出席は、出来るかな？」とのご要請に、「遅れるかもしれませんが、出席可能です」と即答。

関東での第一回実行委員会は、2 年前の 12 月初旬であったので、関西での活動開始もそろそろかなと思っていた矢先のことであった。

この夜から私の関西地区での総会準備活動が始った。

初回会合から関西地区での総会準備をさせて頂くことになったのは、この一本の電話からであった。

Act２．関東で知り合った仲間の支援と関西で協力要請に応えて下さった実行メンバーとの新たな出会い

翌日、神戸での会合に出席させて頂いた。私を入れて地区役員の木庭さん、古河さんを含めての実行委員 6 名が出席。総会準備活動（第一回実行委員会）は、6 名でスタートした。

関東の時の実行委員は、地区役員とは別に事務局だけで総勢 13 名。メンバー補強が是非とも必要であった。関西在住の若い方々に、関東のつながりから声を掛けて頂こう。そこでお世話になったのが、関東で準備活動を一緒に務めさせて頂いた早田さん（子 54）。

2008 年の年の瀬、早田さん（子 54）から、メールで関西在住の西村さん（化 54）、石田さん（機 55）へ協力要請。結果、両氏は、その要請に応えて下さり、第二回実行委員会（2009 年 1 月 17 日）から一緒に総会準備をさせて頂くことになった。早田さんに両氏を紹介して下さったのが、網田さん（情 55）、孝橋さん（金 55）であった。皆さん、本当に有難うございました。このつながりを大事にしたい。

Act３．開催ホテル探しと地元大津での開催

一泊二食宴会付き（飲み物別）で 13,000 円。しかも交通アクセスが良く、温泉があり、観光地であることが条件。参加費 18,000 円（前々回の中部 17,000 円、前回の関東 18,000 円）で、これ以上参加費を上げるわけにはいかない。予算が厳しい。条件に合うホテル探しが全員で始まった。

京都、神戸、淡路島、宝塚、有馬、姫路、亀岡、滋賀の各地をネット等で調査。結果、京都に近い滋賀で探すことになった。琵琶湖畔を車で家内の情報も含めて現地調査。予算内で雰囲気の良い料理旅館は、何件かあった。しかし、規模が小さいため、収容人員、共有施設等にゆとりがない。又、観光温泉地はあったが、到底 13,000 円では、納まらない。後日、有力情報の連絡があった。木庭さんのメールと古河さんからのネット情報であった。情報を基に下見に行くと、条件に見合ったホテルであった。これで開催場所が決った。探し、望めば、求める会場があるものだ。

最終的に私の地元である大津の琵琶湖畔での開催となり、これも何かのご縁かと。

Act４．自動車部の長い歴史に幕を下ろすことにもなり兼ねない？

現役と OB が一体となり、今後の自動車部のあり方を真剣に考える時期に来ていることを、今回の総会準備をさせて頂く中で強く感じた。

我が母校自動車部の大きな課題。それは、現役部員の人数が、年々、減ってきていることだ。KIT ナイトラリーのイベントを開催するスタッフを確保出来なくなってきたとか、OB 会からの援助金が必要になってきたとか、部員数不足の影響が通常化してきた。又、KIT ナイトラリーのエントリー数が 20 台をキープ出来ないとか、モータースポーツにとって逆風の時代となってきた。自動車部の長い歴史に幕を下ろすことにもなり兼ねない現況がある。

Act５．感動、元気、喜びを頂いた色々な事柄、思いつくままに

・遠方にも拘らず関東から、遠くは福島、大分からも多くの方々に参加して頂けたこと。
・もうすぐ 80 歳を迎えられる松尾会長が、フルタイムで現役のサラリーマンをされて、大変お元気でご活躍であられたこと。
・ご病気、持病のある方々が、日々のケアをされながらも参加して頂けたこと。
・久し振りに再会した現役時代の良き仲間や仕事で参加出来なかった仲間が、企業戦士として日々、頑張っておられること。
・自動車部のホームページで見る現役生の様子から、どんな人物だろうかと心配したが、頼もしい好青年達であったこと。
・故高橋秀一氏（機 51）の墓参りで家族の絆の有難さ、深さを改めて教えて頂いたこと。
・明専会との窓口をさせて頂き、100 周年記念事業の崇高さ、事業の重要性を今さらながら認識させて頂いたこと。
・100 周年募金の呼び掛けで現役への支援の成果があったこと。　等々

総会の準備段階、総会・懇親会、二次会、二日目イベントを通じて、初めての方々を含め、多くの方とお会いし、語り、お世話をさせて頂く有意義な時間を持つことが出来ました。今回の総会準備活動は、人とのつながりの大切さを切に感じたものでありました。

関東に続き関西、特に地元でお世話をさせて頂けたことに感謝申し上げます。有難うございました。了

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

―特別寄稿―

## 部誌「流星」20 号を迎えるに当たり（その 2）

OB 会事務局　嘉村（化 33）

(承前)

関東支部での第一回座談会（10 年 10 月）が時間不足もあって座談会パートⅡを平成 11 年 2 月に開いてもたった。今回も新荘先生にご出席を頂き総数 27 名の大盛会であった。

九州支部では 36 年卒以後のメンバーでもう一度座談会を開いた。11 年 8 月であった。当日は藤原元一、大西正己両部長経験者にもご出席頂き若いＯＢの声を聞くことが出来た。

「特別号・部史」の編集も最終段階に入り、伊藤いすず専務、新荘教授から特別寄稿を頂くことが出来たし、ＯＢ各位にお願いした寄稿文やアンケートのお答えも続々集まり 10 月 25 日に脱稿、<u>平成 11 年 11 月 11 日発刊する</u>ことが

出来た。文中最後に、目下休刊状態の冊子「流星」をＯＢ機関紙として再スタートすることを明言したのでこれを実現したいと次の取り組みにかかった。

ところがまもなく喜多村 OB 会会長の訃報に接し、また真那子晃一（カ 24）先輩も相次いで亡くなられた。ＯＢ会誌創刊号・通算 14 号の「流星」は、巻頭言を新任の原田昭二・機械科教授に、また復刊のあいさつ文を廣田副会長に書いて頂いた。14 号はしたがって喜多村会長・真那子先輩の追悼特集みたいになってしまった。「特別号・部史」のおわりにわたしの夢として自動車部 OB 会総会を、阿蘇山中「長陽山荘」で開きたいと記したが、平成 15 年 3 月、関東支部、中京支部で支部 OB 会が開かれた際、「全国総会を各支部持ち回りで開こう」と中野中京支部幹事から提言がありこれも大きな課題となった。

これを受けて同年 5 月小倉北区内で OB 会総会の準備会が開かれ、前田勇吉（鉱 32）、伊東和俊（子 44）、桂和成（設生ｈ9）、嘉村剛（化 33）が世話人となり今後の準備に当たることになった。

第二回明専･九州工大自動車部 OB 会総会（第一回は昭和 42 年）が、平成 15 年 11 月 23 日、小倉北区ステーションホテル内・ドゥ・ラ・ガールで、原田顧問教授、自動車部現役 4 名を含め総数 36 名が参加し開かれた。総会では新会長に松尾憲一（キ 25）を、副会長に、廣田佳男、尾辻泰一・九工大情報工学部助教授（子 57）などを選出した。

第三回自動車部 OB 会総会は中京支部が担当して準備が進められた。この頃から準備会の活動が活発になり一年前から準備会が数回開かれるという中で平成 17 年 9 月 3 日～4 日の二日間愛知県豊田市猿投温泉のホテル金泉閣で参加 31 名の大盛会のなかで開かれた。当日は原田顧問教授、徳尾三郎特別顧問、現役 2 名のほか夫人同伴の会員もあり翌日は名古屋万博や、ゴルフコンペなど大いに楽しんだそうである。（当日嘉村は急病で欠席）なお総会では副会長に中野大典（中京支部幹事・兼任）を、各支部幹事、副幹事も一部新任を発表した。

この年、川崎高穂（化 32）氏が亡くなられた。彼が自動車部現役に物心両面の援助を続け、送り届けられた「流星」創刊号～第 10 号の 10 冊が、「特別号・部史」編集に当たり、どれだけ力になったか、また彼が鳳龍クラブの役員や、明専会の役員をしたことが自動車部 OB 会の活動にどれだけ貢献したか言葉に尽くせない。私にとって兄弟以上だった彼のご冥福を改めて祈りたい。

18 年 9 月に小倉北区内で徳尾三郎･特別顧問を囲み、「ラリーに明け暮れた青春」と題した座談会を開いた。当日は台風であったが 7 名が参加した。

そして関東支部が実行委員会を結成して動き始める。平成 18 年 10 月関東支部 OB 会席上で実行委員長に木村知幸・関東支部幹事（機 36）同副委員長・宮崎武士・支部副幹事が選ばれ、そのほか多くのの実力者が事務局やそのたの部署で活躍し第四回自動車部 OB 会総会を成功させた。

平成 19 年 10 月 20～21 日熱海市・ニューフジホテルで、役員会、総会が開催され、原田顧問教授、徳尾特別顧問、現役 2 名を加え総数 38 名が出席した。当日体調の悪かった後藤侃之（鉱 28）会計監査役が無理を押して参加し、平成 20 年亡くなられたのは実に無念でならない。

第５回の OB 会総会は１０月１７～１８日琵琶湖畔で開かれ、この２１号にも掲載されているので割愛する。

OB 会の役員・幹事も代替わりしたが、会計・事務局は誰も変わってくれない。私も後期高齢者になり、いつ倒れるかも知れないし、年寄りのわがままが出ないうちに、早急にどなたか手を上げては頂けないだろうか。　（了）

## 明専会・九州工大自動車部 OB 会名簿（H21/10/26 現在）



| No. | 学科 | 卒年 | 氏　名 | 都道府県 | 郡市 | No. | 学科 | 卒年 | 氏　名 | 都道府県 | 郡市 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | キ | 17 | 豊田侃信 | 熊本県 | 八代市 | 68 | 金 | 39 | 小宮陸紘 | 福岡県 | 北九州市 |
| 2 | キ | 18 | 芳賀敏夫 | 石川県 | 金沢市 | 69 | 機 | 39 | 砂本克也 | 神奈川県 | 相模原市 |
| 3 | ヤ | 22 | 石飛英二 | 福岡県 | 福岡市 | 70 | 電 | 39 | 田中一成 | 福岡県 | 京都郡 |
| 4 | キ | 22 | 上妻英敏 | 広島県 | 広島市 | 71 | 機 | 39 | 常冨容史 | 岡山県 | 倉敷市 |
| 5 | テ | 22 | 立松健三 | 兵庫県 | 芦屋市 | 72 | 金 | 39 | 友永三千人 | 大分県 | 別府市 |

| No. | 学科 | 卒年 | 氏　名 | 都道府県 | 郡市 |
|---|---|---|---|---|---|
| 130 | 制 | 48 | 泡田秀美 | 山口県 | 防府市 |
| 131 | 加 | 48 | 井上　巧 | 兵庫県 | 姫路市 |
| 132 | 加 | 48 | 大庭昭二 | 東京都 | 杉並区 |
| 133 | 制 | 48 | 小泉　豊 | 兵庫県 | 神戸市 |
| 134 | 加 | 48 | 高見法生 | 福岡県 | 北九州市 |
| 135 | 機 | 48 | 長尾彰士 | 広島県 | 広島市 |
| 136 | 子 | 48 | 平松和彦 | 広島県 | 東広島市 |
| 137 | 機2 | 48 | 古本正春 | 広島県 | 広島市 |
| 138 | 子 | 48 | 村上博行 | 神奈川県 | 川崎市 |
| 139 | 制 | 49 | 河野文隆 | 愛知県 | 豊田市 |
| 140 | 電 | 49 | 佐藤修一 | 千葉県 | 君津市 |
| 141 | 機 | 49 | 時松和寿 | 神奈川県 | 川崎市 |
| 142 | 化 | 49 | 刀禰文廣 | 千葉県 | 市原市 |
| 143 | 機 | 49 | 堀川浩司 | 山口県 | 岩国市 |
| 144 | 電 | 49 | 宮本洋一 | 愛知県 | 岡崎市 |
| 145 | 電 | 49 | 山崎賢二 | 兵庫県 | 宝塚市 |
| 146 | 機2 | 49 | 山地　博 | 福岡県 | 北九州市 |
| 147 | 子 | 50 | 浅野一学 | | |
| 148 | 機 | 50 | 牛島秀幸 | 福岡県 | 北九州市 |
| 149 | 機 | 50 | 黒瀬文雄 | 千葉県 | 千葉市 |
| 150 | 機 | 50 | 佐伯行信 | 神奈川県 | 横浜市 |
| 151 | 加 | 50 | 首藤光生 | 大分県 | 大分市 |
| 152 | 機 | 50 | 田中文夫 | 長崎県 | 長崎市 |
| 153 | 金 | 50 | 鳥越　清 | 宮崎県 | 宮崎市 |
| 154 | 加 | 50 | 中西　彰 | 滋賀県 | 大津市 |
| 155 | 制 | 50 | 西　裕二 | 愛知県 | 稲沢市 |
| 156 | 情 | 50 | 晴田和夫 | 岡山県 | 岡山市 |
| 157 | 機 | 50 | 溝尻　浩 | 愛知県 | 岡崎市 |
| 158 | 開 | 50 | 吉川吉久 | 長崎県 | 西彼杵郡 |
| 159 | 加 | 51 | 白倉義弘 | 富山県 | 射水市 |
| 160 | 機2 | 51 | 武地伸佳 | 神奈川県 | 横浜市 |
| 161 | 機2 | 51 | 本吉　智 | 神奈川県 | 海老名市 |
| 162 | 機 | 52 | 坂井典次 | 埼玉県 | ふじみ野市 |
| 163 | 機 | 52 | 石田　浩 | 三重県 | 四日市市 |
| 164 | 加 | 52 | 板井靖司 | 埼玉県 | 鶴ヶ島市 |
| 165 | 金 | 52 | 嶋田一郎 | 長崎県 | 佐世保市 |
| 166 | 制 | 52 | 永田義行 | 愛知県 | 岡崎市 |
| 167 | 機 | 52 | 中野博志 | 福岡県 | 北九州市 |
| 168 | 金 | 52 | 房前　悟 | 千葉県 | 市川市 |
| 169 | 開 | 52 | 松本正生 | 熊本県 | 熊本市 |
| 170 | 子 | 52 | 安永　智 | 神奈川県 | 横浜市 |
| 171 | 金 | 53 | 江頭和昭 | 東京都 | 八王子市 |
| 172 | 情 | 53 | 潮﨑英雄 | 神奈川県 | 平塚市 |
| 173 | 子 | 53 | 政近　均 | 大分県 | 大分市 |
| 174 | 情 | 53 | 三浦　巧 | 福岡県 | 北九州市 |
| 175 | 金 | 53 | 八木　繁 | 長崎県 | 南高来郡 |
| 176 | 情 | 55 | 網田浩三 | 神奈川県 | 横浜市 |
| 177 | 開 | 54 | 國栖　晃 | 佐賀県 | 佐賀市 |
| 178 | 制 | 54 | 近藤　務 | 福島県 | 福島市 |
| 179 | 機 | 54 | 坂田晃羅 | 三重県 | 四日市市 |
| 180 | 機2 | 54 | 三宝康則 | 大阪府 | 堺市 |
| 181 | 制 | 54 | 西原博徳 | 福岡県 | みやま市 |
| 182 | 化 | 54 | 西村勝英 | 大阪府 | 和泉市 |
| 183 | 機 | 54 | 石野田昭彦 | 兵庫県 | 神戸市 |
| 184 | 子 | 54 | 早田洋一 | 神奈川県 | 南足柄市 |
| 185 | 機2 | 54 | 槙本　茂 | 千葉県 | 佐倉市 |
| 186 | 化 | 54 | 松岡　智子 | 福岡県 | 北九州市 |
| 187 | 機 | 54 | 諸橋　勝 | 大阪府 | 大阪市 |
| 188 | 機 | 54 | 山下能史 | 佐賀県 | 三養基郡 |
| 189 | 化 | 54 | 四辻博文 | 広島県 | 広島市 |

| No. | 学科 | 卒年 | 氏　名 | 都道府県 | 郡市 |
|---|---|---|---|---|---|
| 190 | 機 | 55 | 石田和布 | 兵庫県 | 川西市 |
| 191 | 機 | 56 | 岩尾　満 | 広島県 | 廿日市市 |
| 192 | 制 | 55 | 太田大州 | 千葉県 | 佐倉市 |
| 193 | 電 | 56 | 太田敏隆 | 茨城県 | つくば市 |
| 194 | 機 | 56 | 大原憲一 | 広島県 | 東広島市 |
| 195 | 機 | 56 | 島原芳雄 | 東京都 | 台東区 |
| 196 | 金 | 55 | 孝橋生郎 | 奈良県 | 五條市 |
| 197 | 機 | 55 | 中村正法 | 福岡県 | 北九州市 |
| 198 | 環 | 55 | 福川将文 | 神奈川県 | 小田原市 |
| 199 | 化 | 56 | 府内秀幸 | 兵庫県 | 神戸市 |
| 200 | 機 | 55 | 松元俊彦 | 千葉県 | 我孫子市 |
| 201 | 子 | 55 | 光成敏博 | 東京都 | 稲城市 |
| 202 | 化 | 56 | 須藤啓司 | 大分県 | 由布市 |
| 203 | 加 | 56 | 平田千鳥 | 福岡県 | 北九州市 |
| 204 | 機2 | 56 | 藤本義文 | 広島県 | 福山市 |
| 205 | 機 | 56 | 武藤哲郎 | 福岡県 | 八女市 |
| 206 | 化 | 57 | 石井庸夫 | 埼玉県 | 越谷市 |
| 207 | 開 | 57 | 大島一郎 | 福岡県 | 福岡市 |
| 208 | 子 | 57 | 尾辻泰一 | 宮城県 | 仙台市 |
| 209 | 子 | 57 | 川村　博 | 愛知県 | 岡崎市 |
| 210 | 子 | 57 | 白水孝久 | 佐賀県 | 鳥栖市 |
| 211 | 子 | 57 | 中村　聡 | 福岡県 | 北九州市 |
| 212 | 化 | 57 | 畠中信和 | 福岡県 | 北九州市 |
| 213 | 機 | 57 | 山口　寛 | 東京都 | 西多摩郡 |
| 214 | 機 | 58 | 浦田慎二 | 神奈川県 | 横須賀市 |
| 215 | 開 | 58 | 片岡琢士 | 熊本県 | 熊本市 |
| 216 | 制 | 58 | 島村秀司 | 静岡県 | 御前崎市 |
| 217 | 制 | 58 | 永井祐二 | 宮崎県 | 宮崎市 |
| 218 | 金 | 58 | 廣田　孝 | 大阪府 | 岸和田市 |
| 219 | 子 | 58 | 前田　満 | 福岡県 | 福岡市 |
| 220 | 環 | 58 | 三原伸治 | 京都府 | 京田辺市 |
| 221 | 制 | 58 | 森　浩紀 | 福岡県 | 福岡市 |
| 222 | 金 | 59 | 大井倫夫 | 徳島県 | 徳島市 |
| 223 | 金 | 59 | 小川洋一 | 福岡県 | 北九州市 |
| 224 | 機 | 59 | 近藤一彦 | 愛媛県 | 今治市 |
| 225 | 開 | 58 | 高橋健司 | 大分県 | 大分市 |
| 226 | 機 | 59 | 津曲 隆司 | 東京都 | 狛江市 |
| 227 | 開 | 59 | 友田富雄 | 福岡県 | 北九州市 |
| 228 | 機 | 59 | 長木正博 | 広島県 | 三原市 |
| 229 | 機 | 59 | 長沼浩二 | 大分県 | 大分市 |
| 230 | 機 | 59 | 那須良行 | 福岡県 | 中間市 |
| 231 | 機 | 59 | 稗田俊彦 | 熊本県 | 菊池郡 |
| 232 | 環 | 60 | 井上浩俊 | 福岡県 | 甘木市 |
| 233 | 機 | 61 | 一瀬博保 | 長崎県 | 諫早市 |
| 234 | 機 | 61 | 中村　勉 | 山口県 | 光市 |
| 235 | 機2 | 61 | 福島　貫 | 愛知県 | 豊田市 |
| 236 | 開 | 62 | 小嶺弘之 | 長崎県 | 長崎市 |
| 237 | 機2 | 62 | 近藤　薫 | 愛知県 | 岡崎市 |
| 238 | 機 | 62 | 貞苅秀治 | 愛知県 | 刈谷市 |
| 239 | 開 | 62 | 三角衡一郎 | 福岡県 | 宗像市 |
| 240 | 金 | 62 | 生越丈夫 | 福岡県 | 久留米市 |
| 241 | 機2 | 62 | 三好明宏 | 岡山県 | 勝田郡 |
| 242 | 機 | 62 | 山田陸生 | 福岡県 | 太宰府市 |
| 243 | 機 | 62 | 山本　彰 | 福岡県 | 飯塚市 |
| 244 | 機2 | 63 | 小川博史 | 愛知県 | 名古屋市 |
| 245 | 金 | 63 | 柿木基文 | 京都府 | 八幡市 |
| 246 | M設 | 63 | 御領親幸 | 愛知県 | 安城市 |
| 247 | 開 | 63 | 坂口裕司 | 神奈川県 | 川崎市 |
| 248 | 金 | 63 | 坂田康通 | 神奈川県 | 川崎市 |
| 249 | M設 | 63 | 永富　潤 | 兵庫県 | 神戸市 |
| 250 | 化 | 63 | 真島匡典 | 佐賀県 | 佐賀郡 |

| No. | 学科 | 卒年 | 氏　名 | 都道府県 | 郡市 |
|---|---|---|---|---|---|
| 251 | 開 | H1 | 河野俊史 | 神奈川県 | 横浜市 |
| 252 | M設 | H1 | 黒田　豊 | 福岡県 | 行橋市 |
| 253 | 制 | H1 | 谷口　浩 | 千葉県 | 千葉市 |
| 254 | 金 | H1 | 鶴田靖英 | 群馬県 | 太田市 |
| 255 | 機2 | H1 | 永渕直大 | 神奈川県 | 相模原市 |
| 256 | 機 | H1 | 藤嶋義孝 | 京都府 | 京都市 |
| 257 | 金 | H1 | 山下利彦 | 福岡県 | 北九州市 |
| 258 | 加 | H2 | 今泉雄起 | 福岡県 | 糟屋郡 |
| 259 | 電 | H2 | 藤井啓一 | 広島県 | 広島市 |
| 260 | 機 | H2 | 山崎公幸 | 福岡県 | 小郡市 |
| 261 | 機 | H2 | 渡辺秀男 | 愛知県 | 豊田市 |
| 262 | 機 | H3 | 須賀　明 | 福岡県 | 遠賀郡 |
| 263 | M設 | H3 | 竹下朋春 | 福岡県 | 北九州市 |
| 264 | 機 | H3 | 林　弘治 | 岡山県 | 倉敷市 |
| 265 | 機2 | H3 | 福田達也 | 福岡県 | 京都郡 |
| 266 | 機2 | H4 | 内野稔秀 | 愛知県 | 愛知郡 |
| 267 | M設 | H4 | 公山謙二 | USA | Wilson |
| 268 | 設機 | H4 | 白石　聡 | 香川県 | 綾歌郡 |
| 269 | 設機 | H4 | 山下　暢 | 熊本県 | 宇土市 |
| 270 | 設機 | H4 | 山本　剛 | 福岡県 | 太宰府市 |
| 271 | 機 | H4 | 吉住治郎 | 愛知県 | 西加茂郡 |
| 272 | 機 | H5 | 家守治一 | 岡山県 | 倉敷市 |
| 273 | 設機 | H5 | 紙谷俊彦 | 神奈川県 | 横浜市 |
| 274 | 設機 | H7 | 桂　和成 | 福岡県 | 北九州市 |

| No. | 学科 | 卒年 | 氏　名 | 都道府県 | 郡市 |
|---|---|---|---|---|---|
| 275 | 設機 | H8 | 小西幸生 | 栃木県 | 宇都宮市 |
| 276 | 設機 | H8 | 渡邊裕之 | 大分県 | 大分市 |
| 277 | 設機 | H9 | 小野浩一 | 福岡県 | 太宰府市 |
| 278 | 設機 | H9 | 篠崎正孝 | 福岡県 | 福岡市 |
| 279 | 電電 | H9 | 鈴木隆友 | 愛媛県 | 松山市 |
| 280 | 電電 | H9 | 宮城政人 | 沖縄県 | 島尻郡 |
| 281 | 設機 | H9 | 森若晃太郎 | 福岡県 | 京都郡 |
| 282 | 設機 | H9 | 山本信也 | 大分県 | 東国東郡 |
| 283 | 設機 | H9 | 渡邊　洋 | | |
| 284 | 設機 | H10 | 小早川　貴 | 山口県 | 周南市 |
| 285 | 設機 | H10 | 高橋範康 | 山口県 | 周南市 |
| 286 | 設機 | H10 | 遠山浩一 | 福岡県 | 北九州市 |
| 287 | 設建 | H11 | 井手野　創 | 福岡県 | 福岡市 |
| 288 | 設機 | H11 | 中村裕一 | | |
| 289 | 設機 | H12 | 岩本俊郎 | 福岡県 | 京都郡 |
| 290 | 設機 | H12 | 中本立宙 | 山口県 | 下関市 |
| 291 | M機 | H13 | 山ノ口智誉 | 神奈川県 | 横浜市 |
| 292 | 機制 | H13 | 渡邊冠士 | 長崎県 | 長崎市 |
| 293 | 機情 | H14 | 安部満正 | 愛知県 | 豊田市 |
| 294 | 設B | H14 | 柴田　徹 | 福岡県 | 遠賀郡 |
| 295 | 機宇 | H14 | 松本寛治 | 栃木県 | 宇都宮市 |
| 296 | 機宇 | H14 | 森　浩二 | 岡山県 | 総社市 |
| 297 | 電 | H14 | 安倍俊富 | 茨城県 | ひたちなか市 |
| 298 | 機制 | H15 | 石塚　誠 | | |
| 299 | 機 | H16 | 村井健太郎 | 福岡県 | 宗像市 |
| 300 | 機 | H17 | 犬丸　卓 | 福岡県 | 福岡市 |

## 明専・九州工業大学自動車部OB会特別会員

| No. | 学科 | 卒年 | 氏　名 | 都道府県 | 郡市 |
|---|---|---|---|---|---|
| 301 | 顧問 | | 平木講儒 | 福岡県 | 北九州市 |
| 302 | 特別顧問 | | 徳尾三郎 | 福岡県 | 北九州市 |
| 303 | ツ | 25 | 山崎又一 | 愛知県 | 日進市 |

OB会退会希望

| 学科 | 卒年 | 氏　名 | 都道府県 | 郡市 |
|---|---|---|---|---|
| テ | 20 | 平位豊克 | 福岡県 | 大牟田市 |
| 電 | 33 | 川村俊明 | 東京都 | 三鷹市 |
| 化 | 35 | 本多偉展 | 愛知県 | 名古屋市 |

物故者名簿

| 学科 | 卒年 | 氏名 |
|---|---|---|
| キ | 19 | 佐野正康 |
| テ | 19 | 山本平八 |
| キ | 21 | 喜多村広利 |
| コ | 21 | 古江　勝 |
| テ | 21 | 今井淳之 |
| キ | 22 | 越出(福田)保隆 |
| キ | 22 | 伊東広一 |
| キ | 23 | 久保昭夫 |
| キ | 23 | 三重野宗一 |
| キ | 23 | 田中桂三 |
| カ | 24 | 真那子晃一 |

| 学科 | 卒年 | 氏名 |
|---|---|---|
| キ | 24 | 赤松和範 |
| テ | 24 | 高野聖也 |
| キ | 25 | 澤井慶次 |
| キ | 25 | 酒井通光 |
| キ | 25 | 溝口泰生 |
| コ | 26 | 松田範之 |
| 機 | 28 | 渡辺良一 |
| 鉱 | 28 | 後藤侃之 |
| 電 | 29 | 吉田祐三 |
| 機 | 31 | 蔵満　正 |
| 化 | 32 | 川崎高穂 |

| 学科 | 卒年 | 氏名 |
|---|---|---|
| 鉱 | 32 | 松吉　勇 |
| 機 | 33 | 原田　毅 |
| 金 | 36 | 渡辺敏美 |
| 機 | 38 | 森光輝八郎 |
| 電 | 38 | 増田茂穂 |
| 開 | 43 | 伊藤東一 |
| 機 | 48 | 浜田　司 |
| 機 | 51 | 高橋秀一 |
| 子 | 54 | 木場敬治 |
| 機2 | 57 | 寺田睦雄 |

【編集後記】

流星の編集者として２号目になった。とはいえ、まだ前任者の嘉村先輩に印刷の手配をお願いしている状況で、担当者としてまだ独り立ちしていない。今回は、2 年に一度の OB 会総会が有り、原稿に困らなかったのは幸いした。しかし、現役諸君との連絡網の徹底不良で平木先生にお助け頂き、深謝申し上げます。また、嘉村先輩にも日程につきご心配をおかけし重ねてお詫び申し上げます。前号に続き反省。（武）

発行日　平成 21 年 12 月 8 日
発行者　九州工業大学責善会自動車部
主将　岩田
明専・九州工大自動車部 OB 会
会長　木村
編集者　武地（機 2　51）
嘉村（化　33）
印刷所　株式会社印刷工房フジワラ

受付